

林 大 の 風

創刊号 平成31年4月15日

高知県立林業大学校

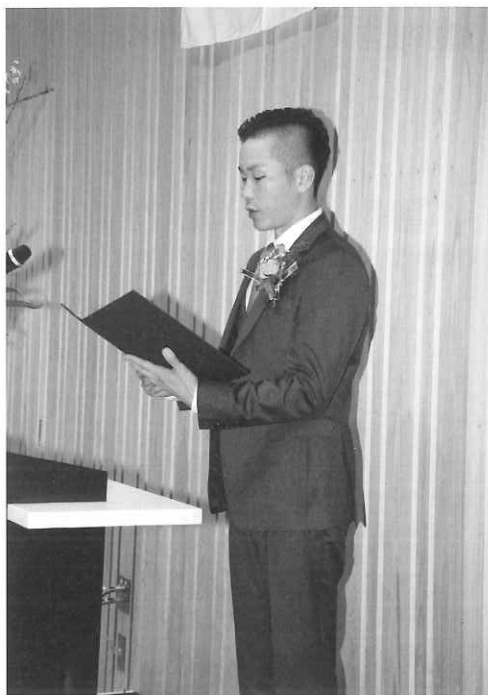


平成30年度卒業式

平成31年3月21日、林業大学校として初めての卒業式を行いました。

基礎課程22名、専攻課程18名全員が無事卒業し、新たな一歩を踏み出しました。

式前日、基礎課程及び専攻課程林業技術コースの研修生は愛用のチェーンソーをピカピカに磨き上げ、森林管理コースは森林GISのデータを整理し、木造設計コースでは模型を作り込み、最後は机やロッカーの中をきれいに整理整頓し万全の状



卒業生代表・公文貴斗さん

態で卒業式を迎えました。

この日は、私服や防護ズボンなどで通学していた研修生がスーツ姿で登校。普段見ることの出来ない研修生の凛々しい姿に、とうとうこの時が来たかと万感の思いでした。

式には約100名が出席し、尾崎正直知事及び隈研吾校長からの式辞、ご来賓の方々からの祝辞で激励の言葉をいただきました。

卒業生代表として、普段にもまして髪型をしつかり決めた公文貴斗さんが「講師陣やインターンシップで受け入れていただいた森林



隈研吾賞を受賞した依光昭昌さん

組合や林業事業体の皆様に心から感謝している。研修を通して知識や技術だけではなく人間としても成長できた。高知県の森林・林業・

木材産業の発展のために一人前の人材になっていくことをここに誓います。」と、これからの人生への決意を力強く宣言しました。

また、今年度創設された隈研吾賞を木造設計コースの依光昭昌さんが受賞しました。地域防災をテーマに卒業設計を「記憶と想像をつなぐ防災ランドスケープ」という題目で作成し、地域防災拠点施設の構想が評価されたの受賞となりました。

卒業生のうち基礎課程から専攻課程へ進学する10名を除く卒業生30名は、森林組合や林業事業体、建築設計事務所などに全員就職し、今年度も就職率100%を達成しました。

川上・川中・川下と様々な職種に就いた卒業生が、業界に新しい風を吹き込み、数年後には林業及び木材産業界を牽引していくことを期待しています。

〓ご挨拶〓 4月号
樹海から始まりました「林大の風」。どうぞよろしくお願いたします。